

# 愛知一般労働組合

＝発行＝

全労連・全国一般労働組合愛知地方本部＝煤本國治  
住所：名古屋市中区栄3丁目9-3  
労働会館本館405

＝日本アクリル争議：都労委命令を前にして＝

## 都庁前で宣伝行動！ 我々は最後まで闘うぞ

東京地本が日本アクリル争議支援の都労委前宣伝行動を10月21日に取り組みました。

当日は、愛知地本アクリル争議団が12月に出される予定の都労委命令に向け、宣伝行動と署名(個人・団体「不利益取り扱いと支配介入 団交拒否をふせぐ 公正な勝利命令を求める要請署名」)個人646筆、団体180筆の提出行動を行いました。



(記 執行部)

宣伝終了後に「頑張ろう」



平和を  
あきらめ  
ないで  
ためら  
め

11月3日は、憲法記念日。愛知9条の会は名古屋市公会堂に

て「憲法9条をまもろう愛知県民のつどい」を開かれ、オンライン含め750人の参加でした。

冒頭代表世話人の内川弁護士挨拶に始まり、元内閣官房副長官補佐補の柳澤氏より「トランプ政権で混乱する世界と日本の将来」のタイトルで講演がされました。米国の攻撃には容赦をしないし自国の為に最強の軍事力を維持しつつ弱い国には交渉の手段として武力を行使し、強い国に対しては抑止力と言いつつながら無限の軍拡に突き進んでいる。

日本はどうかと言えば、米国に見捨てられないために、どこまでも米国の要求にこたえる。防衛費GDP1%分の増加には6兆円が必要、これは財政破綻を招くし、兵器の爆買いは自衛隊募集が困難な状況で、兵器を扱う人員が足りないのが現状である。まもるべきは「戦争をしない国」というアイデンティティが大事、戦争体験者で歴代の自民党の田中角栄・福田康夫・古賀誠・亀井静香など戦争を知る政治家でさえこのことを守ることを考えていた。

私たちは、戦後生まれだが戦争体験が無くても、戦争の悲惨・戦争の傷跡は認識できる。戦争を回避する道筋は、必ずある。



それを政治に求めていくことが大事、その政治家を送り出すのは国民一人一人である。

そして平和のありがたさを実感できない世代が増えている「9条を守れ」が通じない、何をどう伝えるかが問われている。未来から見た歴史である今日

「防げたのに」と言われないように我々が次世代に語り継いでいく必要がある。と話されました。

その後は、社会問題や政治を風刺するお笑い芸人の「せやろがいおじさん」によるトークショーがありました。(記 執行部S)

(裏面にも記事があります)

### 今後の予定

12月2日(火)単一労働組合協議会  
定期大会

＝2026年＝

1月9日(金)2026全国一般愛知地本旗開き(左チラシ参照)

1月25日(愛)愛労連第73回定期大会

2月16日(月)第1回評議委員会

全国一般労働組合愛知地方本部

# 2026 旗開き

日時：2026年1月9日 場所：労働会館東館  
(金) 18:30～20:00 5階テラス

2026年度の愛知地本旗開きは上記の日程で開催します。新たな年の始まりにあたり、交流と決起の場とします。今年こそ日本アクリル支部争議を解決し、全国一般愛知地本に結集する仲間を強化し、愛知地本の組織拡大に向けてみんなで頑張ろう！

一人はみんなの為に、みんなは一人の為に！！



全労連・全国一般労働組合愛知地方本部

〒456-0006 名古屋市中区栄3丁目9-3 労働会館本館405 TEL 052-553-6977 FAX 052-553-6977

# 第七回愛知母親大会に参加して

学び・行動することで社会は変わる！



今年の大会は11月9日、東別院会館を中心に開催されました。

私は午前、見学分科会「市政資料館から文化のみち散策（撞木館・二葉館）」に参加しました。雨の中、12名で3名のガイドさんと一緒に歩きました。市政資料館は私も大好きな建物です。国の重要文化財で旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎、皆さんもご覧になったことがあると思いますが、NHKの朝の連続テレビ小説「虎に翼」の裁判所のシーンのロケ地としても有名です。実はこの建物は壊されることになりそう

だったことを聞いてびっくりです。ネオブロック様式で敷地は5300坪もあり、玄関に入ると裁判所らしく公平を意味する天秤計りをかたどったステンドグラスが迎えてくれます。ここであの主人公のモデルとなった三淵嘉子さんも4年間働いておられたそうです。そして撞木館は輸出陶磁器商の井元為三郎の館でこちらもユニークなステンドグラスがあります。トランプをかたどったものですが、スピードとダイヤ、クローバーはありますが、ハートがありません。その意味は「ハートは自分の心の中にある」ということでした。次の二葉館は日本の女優第1号川上貞奴の館です。こちらも貞奴が好きだった植物をかたどったステンドグラスが迎えてくれました。貞奴が自分の力で財力を築き、会社も経営していたことなど、ガイドさんの説明のおかげでいろいろなことを知ることができ、楽しい時間を持てました。

午後は全体会で、北法律事務所の斐明玉（ぺみよんおく）弁護士の「ジェンダー平等の実現を目指して」の講演でした。今、多様性を認めな

いトランプのようなバックラッシュをやろうとする政治家が出ています。日本の社会でもジェンダーではさまざまな性別の相対性や性の多様性があることが分かってきました。それにつけても日本のジェンダーギャップ指数は118番目という低さです。とりわけ政治・経済の分野が低い水準なのが問題です。ヨーロッパではパリティ法で議員に立候補する時、男女ペアで立候補するとか、議員の女性比率を増やすクオータ制が導入されて女性の議員が増えています。

性暴力については被害者が女性だけでなく、ジャニーズ問題のように男性もいて、深刻な被害となつていきます。日本ではまだまだ被害者救済が法的にも社会的にも十分ではありません。2023年に刑法が改正されたが、被害者の立場に立った法律とはなっていない実情です。それでも女性たちが声を上げ、その女性を支援するムーブメントも起きていることが、政治を動かしつつあります。

そんな中での高市政権誕生で、排外主義や女性の社会的地位向上にストップをかけるのではと懸念されます。しかし女性がこうやって集まって、学び、行動することで社会は変わるんだと確信が持てる母親大会でした。

（女性部 一）

## 県下駅頭でアピール 11.6地域総行動

約80カ所で早朝から大奮闘！

東三河労連では、7時15分、45分、豊橋駅での行動に10人が参加し千枚のビラを配布しました。

受け取りはコロナ以前に戻りつつあります。自治労連の長坂さんも上京前に参加しました。

西三河労連では、名鉄新安城駅北口で宣伝。この駅は、トヨタ系や三菱など大企業労働者が利用しています。4人で約五百部配布しました。昨日夕方は西尾駅で1人で百八十部配布しました。

瑞穂区労連は、地下鉄「新瑞橋」駅にて6人で二百五十枚配布。夕方この場所で宣伝しました。

愛知国公は、国公一般の旗を掲げ、三の丸合同庁舎の前で宣伝しました。

港区労は地下鉄「名古屋港」駅では2人で二百部配布。名中センターは地下鉄「久屋大通」駅、海部・津島労連は「津島」駅で7人（左写真）、愛高教の



仲間も参加しました。天白地域センターは「平針」駅で宣伝しました。

（愛労連ニュースより転載）